



クリニカルラダー（臨床実践能力習熟段階）

	レベルⅠ （新人レベル）	レベルⅡ （一人前レベル）	レベルⅢ （中堅レベル）
到達目標	新人看護職員 12 ヶ月間の到達目標参照	1 対象を理解し、状況に応じて看護過程が展開できる。 2 自己の看護観を再認識し、看護の視点を深める。 3 看護実践を通し、研究的態度で問題に取り組むことができる。 4 日々の業務を円滑かつ効果的に遂行できる。 5 後輩・看護学生に対して指導的な関わりができる。	1 予測性を持った看護を展開し、個別性のある看護の提供ができる。 2 他職種と連携をはかり、看護の継続が考えられる。 3 災害発生時にリーダーシップがとれる。 4 キャリア開発の方向性を持つことができる。 5 後輩・看護学生に対して指導的な関わりができる。
看護実践能力		1 個別性に配慮したベッドサイドケアの実践が出来る。 2 KOMI 理論に基づいた看護実践の展開ができる。 3 実践した看護について評価できる。 4 患者・家族に個別的な指導ができる。	1 患者の個別性に応じた予測性をもった看護が提供でき、スタッフ指導が行える。 2 KOMI 理論に基づき看護の実践指導ができる。 3 医療チームと協力し家族や社会問題なども考慮し、退院指導などを効果的に実践できる。
社会的能力・管理能力		1 組織の一員として常識的な行動が取れる。 2 言葉使い、あいさつなどの接遇マナーを実践でき、役割モデルとなれる。 3 職員間のコミュニケーションがとれ意見交換ができる。 4 所属部署および看護部活動に参加できる。 5 チームの一員としての役割を果たすことができる。 6 「看護者の倫理綱領」にそって事例を捉えることができる。 7 院内の安全・感染対策推進のための活動ができる。	1 接遇マナーを実践でき指導できる。 2 保健、社会、福祉の変化、情報に関心をもつことができる。 3 コーディネーターの役割を理解しリーダーシップが発揮できる。 4 自己の目標達成に向けて積極的に行動できる。 5 スタッフ 1 人 1 人の能力を把握し適切な指導ができる。 6 「看護者の倫理綱領」に沿って事例を捉えることができる。 7 緊急事態や災害発生時を予測した対応がとれる。 8 感染防止マニュアルに沿って実践し指導できる。
教育・研究能力		1 看護研究に関心を持ち、取り組むことができる。	1 看護研究に取り組むことができ、指導することができる。 2 教育に関する企画に参加し役割を果たすことができる。 3 学生の実習評価・新人看護職員の技術評価ができる。 4 自己の専門性を高めるため研修に積極的に参加できる。

